

【2025年6月21日】今週のマーケットレポート - 中東情勢とクリプト急伸が注目の一週間

目次

- 📊 [エグゼクティブサマリー](#)
- 💱 [為替市場の動向](#)
- 🇯🇵 [JP 日本経済](#)
- 🇺🇸 [US 米国経済](#)
- 🇨🇳 [CN 中国経済](#)
- 🌐 [その他の地域](#)
- 📈 [来週の注目ポイント](#)
- 🎯 [マーケット見通し](#)

📊 エグゼクティブサマリー

今週のマーケットは、中東情勢の緊迫化と仮想通貨関連株の急伸が際立った一週間となりました。イスラエル・イラン間の武力衝突が継続する中、地政学リスクが投資家心理に影響を与えています。一方で、米国政府による仮想通貨支援法案の進展により、クリプト関連銘柄が大幅上昇しました。

💡 **キーポイント：** トランプ政権下での政策変更期待と地政学リスクが交錯する相場展開

主要指標サマリー（株式インデックス）

指数	終値	変動幅	変動率	今週の動向
日経平均	38,403.23	-85.11	-0.22%	📉 米防衛費要求で下押し
NYダウ	42,206.82	+35.16	+0.08%	➡️ 小動き、様子見相場
S&P 500	5,967.84	-13.03	-0.22%	📉 3日連続の下落
ナスダック	19,447.41	-98.86	-0.51%	📉 テック株に調整圧力
ドイツDAX	23,350.55	+293.17	+1.27%	📈 欧州で最も堅調

💱 為替市場の動向

為替市場では、リスクオフの流れからドル円が円高方向に推移しました。中東情勢の不透明感が安全資産としての円買いを促進し、週末にかけて円が強含みました。

主要通貨ペア表

通貨ペア	終値	週間変動	変動要因
USD/JPY	146.15-17	+0.76円安	● 地政学リスクで円買い
EUR/USD	1.0890	+0.12%	● ECB政策期待
GBP/USD	1.2735	-0.08%	● 英政治不安

ハイライト

- **ドル円の動向**：146円台前半で推移、地政学リスクが円買い要因
- **ユーロ圏**：ECB政策見直し期待でユーロが堅調
- **新興国通貨**：リスクオフで軟調、特にトルコリラが下落

JP 日本経済

日本市場は、米政府からのGDP比5%の防衛費要求というニュースが重石となりました。また、インバウンド消費の鈍化が小売業界に影響を与えています。

主要指標

指標	数値	前週比	特記事項
日経平均	38,403.23	-0.22%	📊 38,400円台で推移
TOPIX	2,771.26	+0.15%	📊 2,770台で堅調推移
円建て国債10年物	1.390%	-0.020pt	📈 日銀政策への思惑

ハイライト

- **防衛費問題**：米政府がアジア同盟国にGDP比5%の防衛費要求を表明、日本への圧力が鮮明
- **小売業界**：高島屋が5年ぶり損益悪化、インバウンド消費に陰りが見える
- **企業活動**：日本製鉄がUSスチール買収を完了、グローバル競争力強化へ
- **金融政策**：日銀の次期利上げへの地ならしが進む、国債買い入れ減額検討

us 米国経済

米国市場は、Fed理事による7月利下げ支持発言と中東情勢への懸念が交錯しました。トランプ政権の政策運営に対する市場の注目度は高く、特に仮想通貨関連政策の動向が株価に影響しました。

主要指標

指標	数値	変動	トレンド
S&P 500	5,967.84	-0.22%	 調整局面入り
VIX指数	20.62	-6.99%	 恐怖指数は低下
10年債利回り	4.25%	-0.05pt	 横ばい圏

ハイライト

- 金融政策：Fed理事Wallerが7月利下げを支持、次期議長ポスト巡る思惑も
- 仮想通貨政策：GENIUS法案への期待でCoinbase (+4.43%)、Circle (+20.39%)が急伸
- 地政学リスク：中東情勢悪化で投資家がリスク回避姿勢を強める
- 企業動向：Apple社がAI検索のPerplexity買収を社内協議中との報道

CN 中国経済

中国では人口減少が不動産市場の重石となっており、構造的な問題が表面化しています。レアアース輸出規制の影響も米国・日本向け輸出に現れています。

主要指標

指標	数値	変動	影響要因
上海総合指数	3,025.60	-0.85%	 不動産セクター低迷
香港ハンセン指数	17,815.23	-1.20%	 中国本土連動
人民元/ドル	7.2850	+0.15%	 小幅元安

ハイライト

- 人口問題：人口減少が不動産市場の長期低迷要因として浮上
- 貿易政策：対米レアアース輸出が5月に8割減、対日輸出も半減
- 金融政策：6月の貸出基準金利（LPR）を据え置き、慎重姿勢継続
- 消費動向：618セール好調で消費復活の兆しも見られる

 その他の地域

EU 欧州

- ドイツDAX：+1.27%と主要指数で最も堅調、経済再生への期待
- 政治情勢：英独仏がイランとの協議継続で合意、外交解決模索

GB 英国

- 市場動向：政治不安でポンドが軟調、核プロジェクトへの民間投資は活発

- 金融政策：SNBの政策見直し観測、スイスフランは安定推移

来週の注目ポイント

イベントカレンダー表

日付	時間	国/地域	イベント	重要度
6月23日(月)	-	US	PCE（個人消費支出）データ発表	☆☆☆
6月24日(火)	午後	US	Powell議長、議会証言	☆☆☆
6月24日(火)	夜間	US	消費者信頼感指数	☆☆
6月25日(水)	-	US	新築住宅販売件数	☆☆
6月26日(木)	引け後	US	Nike (NKE) 決算発表	☆☆
6月27日(金)	朝	US	5月PCEデータ（Fed重視指標）	☆☆☆

その他注目企業決算

- KB Home (KBH)、Carnival (CCL)、FedEx (FDX)
- BlackBerry (BB)、General Mills (GIS)、Micron (MU)

マーケット見通し

短期見通し（1-2週間）

- 株式市場：中東情勢とFed政策のバランスが焦点、レンジ相場継続の可能性
- 為替市場：リスクオフ継続なら円高進行、146円割れも視野
- 債券市場：地政学リスクプレミアムで長期金利は低下圧力

中期見通し（1-3ヶ月）

- 成長期待：AI・仮想通貨関連の政策期待が相場を下支え
- インフレ動向：エネルギー価格上昇リスクを注視
- 企業業績：決算シーズンで業績の実態が明らかに

主要リスク要因

- 地政学リスク：中東情勢のさらなる悪化
- 金融政策：Fed利下げペースの変更
- 貿易摩擦：米中関税問題の再燃
- エネルギー価格：原油価格の急騰リスク

💡 投資アドバイス

- **分散投資**：地政学リスクに備えた地域分散を推奨
 - **ディフェンシブ銘柄**：不透明感が高まる中、安定配当株に注目
 - **仮想通貨関連**：政策期待は強いが、ボラティリティに要注意
 - **円資産**：安全資産としての円の再評価が進む可能性
-

⚠️ ディスクレーマー

本レポートは情報提供を目的としており、投資勧誘や投資アドバイスを目的としたものではありません。本レポートに記載されている情報は2025年6月21日時点のものであり、その正確性、完全性、または適時性を保証するものではありません。

本レポートの内容に基づいて行われる判断や行動、またはそれにより生じる結果について、当社は一切の責任を負いません。投資判断は投資家ご自身の責任において行ってください。過去の投資実績は将来の投資成果を保証するものではなく、投資には常にリスクが伴います。